

老年看護方法論

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 野里 同 准教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 22.5 時間
期 間	後期		
単 位 数	2 単位		

・学修方針（講義概要等）

高齢者の健康障害は、生活習慣を反映した個別性があることを学ぶ。また、健康障害の要因をアセスメントし、高齢者の QOL の向上に向けた看護を学ぶ。さらには、根拠をもち看護実践ができることを重視する。高齢者のヒストリー聴取の技術、高齢者のバイタルサイン測定の特徴、尿失禁のある患者の看護、脳血管障害のある患者の看護（麻痺・嚥下障害のある人の看護）および認知症のある人の看護を学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

ライフステージの最終にあり、加齢に伴う身体的変化や慢性疾患を多く持つ高齢者の特性をとらえることができる。また、様々な特性に応じた高齢者の持てる力を引き出す援助の方法を考察することで、高齢者の尊厳と QOL を支える看護のあり方を検討することができる。そして、高齢者の生活する場が多様であることを理解することで、多職種との連携の必要性やその人らしく生きるための支援のあり方を考察することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3, 4, 5, 7, 8

・到達目標（SBO）

1. 高齢者の加齢に伴う身体変化を理解し援助技術と関係付けることができる。
2. 高齢者の強みを引き出し健康の維持や自立促進につなげる支援の方法を予測することができる。
3. セルフケアによるその人らしい生活を実現できる支援の方法について予測することができる。
4. その人らしく生きるための尊厳と多職種との連携や QOL を支える看護について予測することができる。
5. 高齢者に多い疾患や症状の特性を援助方法と関係付けることができる。
6. 高齢者の意思決定プロセスの特徴と支援する方法と関係付けることができる。
7. 高齢者の個別性を生かした看護過程を展開し、発表することができる。

・ 授業日程

(矢) 西 1-B 講義室、 (矢) マルチ 2-A 実習室

【講義】

月日 (曜) 時限	講座(学科) 担当教員	授業内容/到達目標
9/21 (木) 4 限	地域包括ケア講座 館向 真紀 特任講師	高齢者の口から食べることを支える看護 ・ 高齢者の食事に関する特徴を理解し、アセスメントと援助方法について説明することができる 【事前学修】 高齢者の食事に関する特徴について文献やテキスト等を調べる(60分) 【事後学修】 高齢者食事の援助方法について要点をまとめる(60分)
9/27 (水) 3 限	地域包括ケア講座 野里 同 准教授	高齢者の排泄・清潔・衣生活を支える看護 ・ 便秘、下痢、失禁がある高齢者のアセスメントと援助方法について説明することができる ・ 高齢者の清潔、衣生活に関するアセスメントと援助方法について説明することができる 【事前学修】 高齢者の排泄・清潔・衣生活の特徴について文献やテキスト等を調べる(60分) 【事後学修】 高齢者の排泄・清潔・衣生活の援助方法について要点をまとめる(60分)
10/2 (月) 3 限	地域包括ケア講座 野里 同 准教授 館向 真紀 特任講師 菊池 佑弥 助教	高齢者体験① ・ 高齢者の加齢に伴う運動器系の身体変化を理解し、援助技術について述べる 【事前学修】 高齢者の運動器系の身体変化について文献やテキスト等を調べる(60分) 【事後学修】 高齢者の運動器系の身体変化に応じた援助方法について要点をまとめる(60分)
10/2 (月) 4 限	地域包括ケア講座 野里 同 准教授 館向 真紀 特任講師 菊池 佑弥 助教	高齢者体験② ・ 高齢者の加齢に伴う感覚器系の身体変化を理解し、援助技術について述べる 【事前学修】 高齢者の感覚器系の身体変化について文献やテキスト等を調べる(60分) 【事後学修】 高齢者の感覚器系の身体変化に応じた援助方法について要点をまとめる(60分)

10/4 (水) 3 限	地域包括ケア講座 野里 同 准教授	<p>高齢者の活動と休息を支える看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の活動と休息に関する特徴を理解し、アセスメントと援助方法について説明することができる <p>【事前学修】 高齢者の活動・休息に関する特徴について文献やテキスト等を調べる(60分)</p> <p>【事後学修】 高齢者の活動・休息の援助方法について要点をまとめる(60分)</p>
10/4 (水) 4 限	地域包括ケア講座 菊池 佑弥 助教	<p>高齢者の歩行・移動を支える看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の活動と休息に関する特徴を理解し、アセスメントと援助方法について説明することができる <p>【事前学修】 高齢者の歩行・移動に関する特徴について文献やテキスト等を調べる(60分)</p> <p>【事後学修】 高齢者の歩行・移動に関する援助方法について要点をまとめる(60分)</p>
10/6 (金) 4 限	地域包括ケア講座 館向 真紀 特任講師	<p>高齢者の楽しみ・生きがいづくりの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の楽しみ、生きがいにつながるレクリエーションを計画できる <p>【事前学修】 高齢者施設で実施されているレクリエーションについて文献やテキスト等を調べる(60分)</p> <p>【事後学修】 計画したレクリエーションについて振り返り、修正を行う(60分)</p>
10/10 (火) 4 限	地域包括ケア講座 菊池 佑弥 助教	<p>高齢者に特徴的な疾患・症状を支える看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者に多い特徴的な疾患や症状について理解し、援助方法について説明することができる <p>【事前学修】 高齢者に多い特徴的な疾患や症状について文献やテキスト等を調べる(60分)</p> <p>【事後学修】 高齢者に多い特徴的な疾患や症状に対する援助方法について要点をまとめる(60分)</p>
10/12 (木) 4 限	地域包括ケア講座 館向 真紀 特任講師 菊池 佑弥 助教	<p>目標志向型の看護過程の展開①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の強みやその人らしさを活かした目標志向型の看護過程の展開ができる <p>【事前学修】 目標志向型の看護過程について文献やテキスト等を調べる(60分)</p> <p>【事後学修】 目標志向型の看護過程を展開する (60分)</p>

11/13 (月) 4限	地域包括ケア講座 野里 同 准教授	認知症の看護① ・ 認知症の病態を理解し、援助方法について説明することができる 【事前学修】 認知症の病態や症状について文献やテキスト等を調べる(60分) 【事後学修】 認知症に対する援助方法について要点をまとめる(60分)
11/14 (火) 3限	地域包括ケア講座 野里 同 准教授 館向 真紀 特任講師	認知症の看護② ・ ユマニチュードの技法について理解することができる 高齢者に多いスキントラブル ・ 高齢者に多いスキントラブルについて理解することができる 【事前学修】 高齢者に多いスキントラブルについて文献やテキスト等を調べる(60分) 【事後学修】 ユマニチュードの技法および高齢者に多いスキントラブルに対する援助方法の要点をまとめる(60分)
11/21 (火) 3限	地域包括ケア講座 野里 同 准教授 館向 真紀 特任講師 菊池 佑弥 助教	目標志向型の看護過程の展開② ・ 高齢者の強みやその人らしさを活かした看護計画を立案し、その内容を発表することができる 【事前学修】 高齢者の強みやその人らしさを活かした看護計画を立案してくる(60分) 【事後学修】 看護過程について振り返り修正を行う (60分)
11/30 (木) 2限	地域包括ケア講座 野里 同 准教授	うつ・せん妄の看護 ・ うつ、せん妄の病態を理解し、援助方法を説明することができる 薬物・手術療法時の高齢者の看護 ・ 高齢者の薬物および手術療法時の注意点について理解し、援助方法について説明することができる 【事前学修】 うつ病・せん妄・高齢者の薬物および手術療法について文献やテキスト等を調べる(60分) 【事後学修】 うつ病・せん妄・高齢者の薬物および手術療法に対する援助方法について要点をまとめる(60分)
12/6 (水) 3限	地域包括ケア講座 菊池 佑弥 助教	入退院・リハビリテーション時の高齢者の看護 ・ 高齢者の入退院およびリハビリテーション時の注意点について理解し、援助方法について説明することができる 【事前学修】 高齢者の入退院およびリハビリテーションについて文献やテキスト等を調べる(60分) 【事後学修】 高齢者の入退院およびリハビリテーションに対する援助方法について要点をまとめる(60分)

12/11 (月) 2 限	地域包括ケア講座 館向 真紀 特任講師	<p>高齢者の終末期看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 終末期にある高齢者の特徴について理解し、援助方法について説明することができる <p>【事前学修】 高齢者の入退院およびリハビリテーションについて文献やテキスト等を調べる(60分)</p> <p>【事後学修】 高齢者の入退院およびリハビリテーションに対する援助方法について要点をまとめる(60分)</p>
---------------------	------------------------	--

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ 老年看護学(2)高齢者看護の実践 第6版	堀内ふき他	メディカ出版	2023
参	看護学テキスト 老年看護学技術 最後までその人らしく生きることを支援する 改訂第3版	真田弘美他	南江堂	2020

・成績評価方法

筆記試験 80%、課題 20%とし総合的に評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）をいた上で授業に臨むこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 60 分を要する。グループワーク等のアクティブラーニングを取り入れ、伝える能力の強化を図ると同時に、事例を用いて問題解決能力とコミュニケーション能力を身につける。また、インターネットクリッカー（SLIDO）等を利用したクイズやディスカッションを行うため、指示があった場合はインターネットに接続できるように準備をしておくこと。

授業終了後は、ノートと教科書・配布資料等を用いて積極的に自己学修を行い、知識と理解の定着に努めること。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

試験結果や授業に関する Q&A は、SLIDO やレスポンスカードを活用し、その中でも全体に伝える内容は次回の授業の際に説明する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：専門分野Ⅱ 老年看護学

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型 PC	2	講義資料およびインターネットクリッカーの提示
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影